

令和4年第4回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和4年4月12日（火曜日）		開会	9:55		会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	11:59					
委員の出欠		1 番	宮越 正人	出席	5 番	外山 浩司	出席	9 番	今西 和雄	出席
		11 番	瀧川 榮子	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉部次長		福祉部次長兼保健センター長		福祉部次長兼福祉課長		
		今野 健一	出席	小湊 昌博	出席	入倉 伸顕	出席	干場みゆき	出席	
		介護支援課長		町民課長		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長		
		高橋 勇樹	出席	皆川 学	出席	石戸谷友絵	出席	堀 留美	出席	
		介護支援課主幹		地域包括支援センター長		居宅介護支援事業所長		町民課主幹		
		渡辺 久利	出席	九里 富恵	出席	大道 詳子	出席	西田 和弘	出席	
		保健課主幹		保健課主幹		母子健康センター師長		福祉課主査		
		齊藤 晴美	出席	畠澤 みどり	欠席	根本 博美	欠席	澤田 憲一	出席	
		福祉課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		町民課主査		
		大森 晴海	出席	松本 静香	出席	井川 仁	出席	奈良 司	欠席	
		町民課主査		町民課主査		保健課主査		保健課主査		
		竹本 誠	出席	木幡 友哉	出席	阿部 妃江子	出席	能登 麻奈美	出席	
		保健課主査		母子健康センター主査		老人保健施設主査		老人保健施設主査		
		佐伯 祐司	出席	成瀬 広子	欠席	岩口 真紀子	出席	中田 幸規	出席	
	別海 病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課主幹		病院事務課主幹		
		三戸 俊人	出席	小川 信明	出席	大森 圭介	出席	池田 大海	欠席	
委員外の出席		議長	西原 浩					合計	1名	
事務局職員		主任	小野 絵里					合計	1名	
傍聴者数		一般	0名	報道関係者		0名		合計	0名	

令和4年第4回福祉医療常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者			会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長	9番	今西	9:55 開会 出席委員5名、委員外1名、会期1日 挨拶 【病院所管事務調査】 挨拶 ・4/1付人事異動に伴う職員紹介 看護師2名、臨床検査技師1名、作業療法士1名を新規採用 事務課については1名新規採用、3名異動。 ・医師の状況 水谷医師より3/10付けで退職願、6/1付けで退職することとなった。2月初めに退職の意思が示され慰留したものの退職の運びとなった。4/8の勤務を最後に休暇に入るため、以降は広報でも周知したが、内科外来診療を縮小し運営していく。 後任の医師については、札医大へ常勤医師の派遣依頼を行うほか、別海病院に勤務している医師と関係の深い医師の紹介依頼、医療関係の団体を通じて派遣依頼や募集、さらには民間の医師紹介業者からの情報も収集している。今後も医師の確保に努めていくので御理解願いたい。
委員長	9番	今西	
病院事務長		三戸	
委員長	9番	今西	
病院事務長		三戸	議事1 所管事務調査について (1)新型コロナワクチン接種について ・4月以降、急激に陽性者が増加しており、4/11日時点で1名入院、53人が自宅療養となっている。これまでの状況と比較すると生徒・児童・幼児の感染、家庭内感染が増えている。 ・感染拡大を受けて、福祉部、教育委員会で協議し、学校や児童館等の休業措置がとられている。また、病院において4/9、10に臨時的に子どもを対象とした新型コロナ検査を実施した。福祉部、教育委員会と協議し、関係機関へ実施する旨を通知していただいた。 ・感染の特徴として、感染力は強いものの、重症化する感染者は少なく、無症状者が多い。そのため、本年1月のコロナ病床開設以降、入院は延べ6名に留まっており、大多数は自宅療養となっている。 ・感染者数は、1/6に1名確認されてから、昨日までで延べ173名（町外者含む・道公表とは異なる）。 ・引き続き関係機関と連携し、感染者への治療、感染拡大抑制に努めていく。
委員長	9番	今西	
委員	1番	宮越	
病院事務長		三戸	
副委員長	5番	外山	質疑 ・4/9,10に臨時検査を実施したとのことだが、受診人数は。 ・正確な数字は持ち合わせていないが、2日間で20名ほどかと思う。 ・実施した検査方法は。 ・ほとんどが抗原定量検査で実施している。 ・短時間で結果が出るため、その方法を採用したのか。 ・検査数が多くなってきた場合は抗原定量検査の方がPCR検査よりも短時間で結果が出る。また、医師の判断的にも、今の抗原定量検査結果が非常に信ぴょう性も高いと伺っている。抗原定量検査で判定が難しい場合は、PCR検査も追加で実施する場合もある。
病院事務長		三戸	
副委員長	5番	外山	
病院事務長		三戸	
委員長	9番	今西	・これまでの委員会でも、コロナ禍で医師・看護師の対応が非常に厳しいと聞いていたが、今回さらに医師が1名退職することでますます厳しくなると予想されるが、それに対する対
委員長	9番	今西	

令和4年第4回福祉医療常任委員会 要点記録

病院事務長 三戸	
	応は。 ・土日のワクチン集団接種が始まり2年目となる。厳しい状況には変わりはないが、今回、医師1名が退職し、さらに厳しい状況になる。金曜日の夜から日曜日の午前中までは出張医に当直をお願いしているが、平日の当直枠が1名退職により他の医師で対応しなくてはならない。土日のワクチン接種対応と当直の対応で医師の負担が増加している。常勤の医師を採用しカバーできるのが最善であるが、民間の業者を通じて、また、知り合いの医師に声掛けするなどして、5月に当直を数回担ってもらう医師に臨時的に来てもらう対応をとることになっている。 (4)第7次別海町総合計画第4次実施計画について
病院事務課長 小川	・資料により説明
委員長 9番 今西	質疑
	・札幌大との連携事業では、以前までは地域に出向いて交流をしていたが、コロナ禍で自重しているかと思うが、現状は。
病院事務課長 小川	・地域との直接の交流はここ数年コロナの影響で実施していないが、ネットを通じてインタビューという形で院内の医師・看護師と学生が交流をする機会はあった。また、去年はネットを通じて医大の先生による講演を実施し、集まった町民が質問をするなど、ネットを活用した交流を行った。今年度もネットを活用した交流を予定している。
委員長 9番 今西	病院 10:18 終了 休憩
	10:26 再開
	挨拶 【福祉部所管事務調査】
福祉部長 今野	挨拶、4/1付人事異動に伴う職員紹介
	議事1 所管事務調査について
保健センター長 入倉	(1)新型コロナワクチン接種について
委員長 9番 今西	・資料により説明 接種状況について（4月3日現在） 1回目接種 12,429人 91.8%、2回目接種 12,370人 91.4%、 3回目接種 6,447人 51.1%。 【小児接種】 1回目接種 128人 14.7%、2回目接種 0人 0.0%。
委員 1番 宮越	質疑
保健センター長 入倉	・小児接種において、副反応に関する報告等はないのか。
委員長 9番 今西	・今のところ事例・報告は受けていない。
	・大人のワクチン接種が始まる前にも、副反応などが問題視されたが、結果的には町内では90%以上の方が接種されている。小児接種についても、町としては安全対策をとり、情報提供を行いながら実施していくとしているが、他では講演会などを実施し情報発信をしている事例もある。町として、接種対象となる町民に対し、どういう形で情報を伝えていくのか。
福祉部長 今野	・最近、ワクチン接種に反対する団体の動き等が目につくが、町としては安全性や重症化を防ぐ効果などメリット・デメリットを町民全体へ周知するほか、接種券発送時にも個別に情報提供を行う。その情報を承知した上で接種をしていただくということを心掛けている。今後も積極的に勧奨を行っていく。
	・先ほど「反対する団体」という言葉があったが、町内に存在するのか。
副委員長 5番 外山	・全国的な話。直接接種会場に来るなどということはないが、町に対して文書の送付があった。
福祉部長 今野	

令和4年第4回福祉医療常任委員会 要点記録

委員長	9番	今西	(2)子宮頸がん予防ワクチン接種に向けての準備計画について
保健センター長		入倉	
			・資料により説明
			病院に確認したところ、今のところ予約は入っていない。
委員長	9番	今西	質疑
副委員長	5番	外山	
			・過去の経緯から難しい問題。今回、積極的勧奨を再開するということで、保護者や養護教諭等への説明・理解促進が必要だが、情報提供等は行っているのか。副反応が出た方の映像を見ると安全性に不安を感じる方は少なくないと思う。
保健センター長		入倉	・このワクチン自体、いろいろな経過があった。理解を深めてもらうことは重要だと認識している。今後、国の通知など情報収集し、適切な内容で情報共有を図りたい。
			・積極的に進めるのは難しい。自分自身は積極的に接種してと言えない。
			接種回数は3回とのことだが、どの程度の間隔で接種するのか。
福祉部長		今野	・2回目は初回接種から2カ月後、3回目は初回接種から6カ月後となる。
			・先ほどの外山委員への回答の補足をしたい。広報誌において、ワクチン接種に関する相談窓口について周知している。そちらで積極的に相談を受ける。
委員長	9番	今西	・接種体制を整えるのと並行して、情報提供を行っていくということでは。
福祉部長		今野	・そのとおり。コロナワクチンと同様に個別に通知を行っている。相談窓口を活用してほしい。
委員長	9番	今西	・コロナワクチンと同様、接種をするには不安要素がある。また、8年間接種が途絶えていたということもあり、安全性が担保されないと接種に気持ちが向かないという部分が一番の課題と捉えている。国からの情報提供もあると思うが、町としても情報を掘り地盤を固め進めてほしい。
			・安心して接種していただく体制を整え、進めていく。
福祉部長		今野	・別海では内科と産婦人科のどちらで接種することになるか。
委員	11番	瀧川	・産婦人科での接種となる。
			(3)東部地区における高齢者介護施設の充実について
			・資料により説明
福祉部長		今野	質疑
委員	11番	瀧川	
			・来年の4/1から運営開始としているが、施設で働き手の募集方法、人員確保が心配。また、介護福祉士の奨学金にも応募がない状態というのもあり、どのように人員確保していくのか。事業者にて任せるとすることにはならないと思うが、どのように考えているか。
福祉部長		今野	・事業者にて任せるとすることにはならない。今回、公募の要件の中で長期的な運営や人員確保に関する計画を提出いただくことになっている。その計画の内容も我々の方で精査する。町だけに留まらず、全国的に介護従事者が不足しているが、全体的にというより、資格を伴う施設の従事者が不足しているのが現状。そのことも踏まえ外国人の雇用なども視野に進めてもらうよう、応募事業者とともに町も協力して進めていく。
委員長	9番	今西	また、先ほど奨学金の話も出たので報告すると、今年度1名応募があった。町内で働きたい方への従事者確保対策などの取組も踏まえて、事業者と協議の上、進めていきたい。
介護支援課長		高橋	・ぜひ、事業者が人員を確保できるよう進めていただきたいが、新施設ができると他の施設から人員が流出するという現状がある。そのようなことがないよう事業者には要請していただきたい。
			・委員がおっしゃるとおり、過去にはそのような事例もあったので、人員の引き合いがないように進めていく。町内の施設で働いている人を採用するのは避けるよう伝えていく。
福祉部長		今野	町が全てを制限はできないわけではないが、他の事業者の運営に影響がないよう、進めていきたい。
副委員長	5番	外山	・以前の公募と比べ、補助内容を手厚くするなど見直しは行ったのか。
介護支援課長		高橋	・令和2年度の内容と大きく変わっていない。

令和4年第4回福祉医療常任委員会 要点記録

		東地区でサービスが不足しており、町全体でも通所・訪問のサービスが不足していることもあり、小規模多機能型居宅介護に関するサービスの必要性が高くなっている。
		町内事業者等とお話をさせていただいた中で、公募条件は変わらないものの、応募の意思を示している事業者もある状況。
福祉部長	今野	・ただいまの回答に補足する。
		建設に係る補助金について、前回は、小規模多機能型居宅介護分の町の補助額を道の基準の1/2としていたが、今回、道の基準と同額の3,360万円を町から補助することとしている。
委員	11番 瀧川	・事業者決定から工事着手までの時間が短い、設計については町が大まかなものを示すのか。
介護支援課長	高橋	・基本的には事業者が決定する。施設基準を満たしていれば問題はない。ただ、いきいきサロンの部分については、地域の皆さんが気軽に通える場所にしてほしいと伝えている。
議長	西原	・総事業費は概算でどの程度か。全て補助で賄うのは難しいと思うが。
		・施設の規模から、運営には働き手は何人必要なのか。
介護支援課長	高橋	・金額は現時点で示すことはできないが、資材不足の関係で建設費が以前より高くなることが予想される。補助では賄えないと思っている。
		・小規模多機能型、地域密着型ともに利用者3人に対して1人の職員が必要。小規模多機能型、地域密着型ともに日勤5-6人、夜勤1人で対応。いきいきサロンについては、現在の職員をそのまま雇用してもらうよう伝える。施設全体で25-30人の職員が必要となる。
委員長	9番 今西	・今回3回目の公募で後戻りできない状況だと思う。これまで公募がなかった一番のネックは補助金額の部分だったと理解している。全体の事業費がどの程度かかるのかわからないが、今回公募する方がこの部分をどういうふうに公募の中で理解してもらえるか。これまでの経緯を見ると、さらに補助金の上乗せがあれば応募できるという条件的なものも出てくるのではないと思われるが、今後、条件など提示された場合、町のスタンスとして余裕とどうか、どこまでのゆとりをもって対応するのか。町の考え方の部分になってしまっているが、所管としてはどう考えているか。
福祉部長	今野	・資金面やいろんな面で課題があったことは確か。ただ、施設の形態も通所や訪問だけでは安定した運営が難しいということで、収入の大きい入所型を併設するなど公募内容を見直ししてきた。また、全体の事業費と比較すると高額ではないが、補助金の増額も行い、今回1年間の準備期間をとった上で公募に至った。町としては何としても東部地区施設が必要と判断している。
委員	15番 戸田	・この件は地域で説明を受けた。かなり年数がかかった背景には建設費の負担と経営負担かと思う。事業者の負担にならないような支援体制を町がそこまで確保できるかが今後の課題。ようやく実現体制に入ったということで本当にありがたい。
委員長	9番 今西	(4)第7次別海町総合計画第4次実施計画について
福祉課長	干場	・資料により説明
		①障害児通所支援利用者負担額助成事業
委員長	9番 今西	質疑
副委員長	5番 外山	・障害児通所支援利用者負担額助成事業
		1月当たりの金額は。また、何名ほどの利用があるのか。
福祉課長	干場	・手元に資料がないため、後ほど資料をお示しする。
介護支援課長	高橋	・資料により説明
		①高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業
		②高齢者緊急通報システム運営事業

令和4年第4回福祉医療常任委員会 要点記録

委員長	9番	今西	質疑 ・高齢者緊急通報システム運営事業 ・今回更新する通報装置は、現行の機器と性能の違いはあるのか。 ・機能は大きく変わらない。電波法の改正に伴う更新となる。 ・資料により説明 ①し尿処理施設基本構想策定事業 ②別海斎場施設整備事業
委員	11番	瀧川	
介護支援課長		高橋	
町民課長		皆川	
			質疑 ・質疑なし ・以前、委員会でし尿処理場の現地視察を行ったが、MICS（処理方法）の話が出ていた。今年度近隣自治体の現地視察の視野に入れているので、よろしく願いたい。
委員長	9番	今西	
委員		一同	
委員長	9番	今西	
委員長	9番	今西	その他 ①別海町の国民健康保険税の現状について ・資料により説明 ・今後の所管事務調査に組み込む。その他の項目であるため、質疑はしない。
町民課長		皆川	
委員長	9番	今西	
			閉会挨拶 11:59 閉会